

No. 2995

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年2月17日 第2996回

- ・後期IDM発表
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和4年3月3日 第2997回

- ・会員卓話：應地 正章 君
「にわか登山家」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2995回例会）

開催日 令和4年2月3日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [丸山親睦活動委員長]

ゲスト:緒方 公一 様
(きのくに信用金庫 常務理事)

今月の誕生・結婚祝 [丸山親睦活動委員長]

会員誕生:松村秀一君(2/3)、橋爪正芳君(2/6)
配偶者誕生:橋爪千恵さん(2/5)、
橋爪美智代さん(2/26)
結婚記念:木本隆昭君(2/1)、児嶋正人君(2/3)、
菅原佳典君(2/15)



お誕生日
松村君



結婚記念
(左) 木本君 (右) 菅原君

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君:緒方公一常務理事様、ようこそ有田RCへお越し
下さいました。卓話楽しみにしています。
川口君:緒方公一様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、
宜しくお願い致します。勉強させていただきます。
岩橋君:緒方公一様、卓話楽しみにしています。

中元君:緒方公一様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろ
しくお願いいたします。
橋爪(誠)君:緒方様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろ
しくお願いいたします。
木本君:緒方公一様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本
日の卓話、宜しくお願い致します。
丸山君:緒方様、本日の卓話楽しみにしています。
菅原君:緒方様、本日の卓話宜しくお願い致します。
嶋田君:緒方公一様、本日はようこそお越し頂きました。卓
話よろしくお願い致します。勉強させていただきます。
辻君:本日の卓話、緒方常務よろしく申し上げます。楽し
みにしています。
脇村君:緒方公一様、本日の卓話、よろしく申し上げます。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数21名
(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [松村会長]

「おきタク」

山形県南陽市沖郷地区に60歳以上の
住民が利用できる定額タクシー「おき
タク」がある。乗合型交通では非効率な運
行になるため「タクシー」として運航する
ことで利便性を確保した。

地域の支え合いで運行するサービスと
するため、全世帯から負担金200円を徴
収し、持続性と住民意識を向上させる。利用者は60歳以
上の住民で登録制。自宅と決まった場所まで片道500円
で行けるサービス。



高齢者が外出するハードルを下げることで外出機会が増え、人と交流する機会も増える。町の賑わいもできる。既存のタクシーを利用するのでタクシー事業が継続され一般客や観光客の利便性が維持される。自治体は予算の有効活用ができ住民に喜ばれるサービスが提供できる。住民、事業者、自治体 三方よしとなる。

「おきタク」運行前と後、アンケート結果。外出機会が増えた人が40%。免許返納すると回答した人。4人から38人に。

「おきタク」概要

対象者：60歳以上の住人で利用登録をした人（登録者の家族・知人も同乗可能）

運行期間：平日8時から17時 ※前日予約

運行範囲：自宅と「おきタク」乗り場間の移動。

運賃：1乗車 500円（片道）超過分は行政が負担。

利用状況：医療66%、商業19%、金融5%、公共施設10%

有田市では路線バスが廃止された後デマンドバスが地域の公共交通を担っています。デマンドバスができた時は良かったのでしょうか。しかし、あまり住民に利用されていない。

空車状態が多く、今のカーボンニュートラルの時代にそぐわない。早急な対策が望まれます。

めには、「産官学金労言士」の結集なくして実現できません。私どもも存在意義を示せるようなビジネスモデルを志向したいと考えています。

二つ目の脅威は、ゼロ金利政策による利鞘の縮小と大規模な財政出動による貸出の量的な伸び悩みです。預金・貸出のみの従来型の活動の軸だけではなく、新機軸として、①本業支援等と合わせた融資業務の高付加価値化、②信用（カネ）のほかヒト・モノの仲介、③長期的運用ニーズにこたえる資産形成型投資サービスの提供、等への取り組みを強める必要性を感じています。

三つ目の脅威は、デジタル化の大きな波です。金融サービスのデジタル化の歴史はかなり古いものですが、今、起こりつつある動きの特徴は、競合相手が既存の金融機関同士ではなく、ネット専業銀行、API・FinTech企業、更にはGAMA等のIT巨人と極めて強力な顔触れであるということです。

デジタル化により便利な社会が実現されること自体は良いことです。一方、注意しなければならないのは、均一性の高いデジタル化の特性上、地域の独自性や事情が考慮される期待は持ち難いということです。きのくに信用金庫としては、デジタルにFace to Faceの地元密着を組み合わせることで、対抗力を保持するとともに、デジタルにアクセスしにくい人が著しい不便を強いられないよう、金融サービス提供の責務をしっかりと守っていく所存であります。

幹事報告

〔川口幹事〕

本日の幹事報告6件ございます。

- ・和歌山県に、まん延防止等重点措置が適用されます。
- ・本日例会終了後、第8回定例理事会を開催致します。
- ・2月のロータリーレート 1米ドル=115円。
- ・米山記念奨学の確定申告用領収書の配布、送付の案内。
- ・ザ・ロータリアンの回覧。
- ・ロータリー友誌の事前配布。

閉会・点鐘

〔松村会長〕

卓話



きのくに信用金庫
常務理事
緒方 公一 氏

「地域金融機関を取り巻く環境 ～3つの脅威～」

きのくに信用金庫の緒方と申します。本日は、私どもの業務に関連したお話をさせていただき貴重な機会を頂きまして、誠にありがとうございます。折角なので、経済全体の問題にも触れながら、地域金融機関が直面する3つの脅威と整理してお話したいと思います。

一つ目の脅威は、「人口減少による経済縮小」です。日本経済の成長力の低さの背景にあるのが人口減少です。統計的にみると、和歌山県・有田市は大変厳しい状況にあります。

経済再生の基本施策である地方創生を成功させるた

次週2/24(木)は**休会**です

日程	3月の例会プログラム
3/3(木)	会員卓話 應地 正章 君 「にわか登山家」
3/10(木)	会員卓話 北畑 貴行 君
3/17(木)	外部卓話 田中 恵子 氏 (中紀バス(株) 有田旅行センター 所長)
3/24(木)	休会
3/31(木)	外部卓話 西村 昴朗 氏 (ヤビツ ビレッジ 代表)